

第二地銀協地銀の平成 24 年度中間決算の概要について

〔平成 24 年 12 月 13 日〕  
一般社団法人 第二地方銀行協会

当協会では、会員行の平成 24 年度中間決算の概要を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】  
企画部：中嶋、紅林  
TEL：03-3262-2472、2476

平成 24 年度中間決算の概要について

平成 24 年 12 月 13 日  
一般社団法人 第二地方銀行協会

会員行の平成 24 年度中間決算（単体）の概要は以下のとおり。

（注）計数は平成 24 年 9 月末時点の会員行 41 行ベース（特記ある場合を除く）。

**1. 損益概況（業務純益：1,830億円、経常利益：962億円、中間純利益：697億円）**

平成 24 年度中間決算の業務純益は、資金利益が減益となったものの、国債等債券関係損益の増益、経費の減少および一般貸倒引当金戻入額の増加により、1,830 億円と前年同期比+64 億円、+3.6%の増益となった。

経常利益は、株式等関係損益の赤字の拡大、個別貸倒引当金繰入額の増加等を主因に 962 億円と同△96 億円、△9.1%の減益となった。

中間純利益は、697 億円と前年同期比ほぼ横ばい（同△1 億円、△0.1%）となった。

**2. 業務純益の状況**

**(1) 資金利益（4,494 億円、前年同期比△141 億円、△3.0%）**

資金利益は、前年同期比△141 億円、△3.0%減益の 4,494 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高（平残）は増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小により、同△134 億円、△3.5%減少して 3,731 億円となった。

また、有価証券利息配当金は、805 億円と横ばい（同△3 億円、△0.4%）となった。

**(2) 役務取引等利益（317 億円、前年同期比△1 億円、△0.3%）**

役務取引等利益は、投信窓販業務手数料が減少したものの、保険窓販業務手数料が増加したことにより、前年同期比ほぼ横ばい（△1 億円、△0.3%）の 317 億円となった。

**(3) その他業務利益（444 億円、前年同期比+116 億円、+35.4%）**

その他業務利益は、国債等債券売却益の増加等を主因に、前年同期比+116 億円、+35.4%増益の 444 億円となった。

**(4) 経費（3,579 億円、前年同期比△44 億円、△1.2%）**

経費は、3,579 億円と前年同期比△44 億円、△1.2%の減少となった。

### 3. 不良債権処理の状況

不良債権処理額は、316 億円と前年同期比+10 億円、+3.3%の若干の増加となった。

また、金融再生法開示債権(破産更生等債権、危険債権、要管理債権)は、危険債権および要管理債権は増加したものの、倒産件数の減少等を主因に破産更生等債権が減少したため、前年度末比△18 億円、△0.1%減少して 1 兆 6,969 億円となり、開示債権比率も同△0.02%<sup>°</sup> 引ト低下して 3.77%となった。

### 4. 経常利益および中間純利益の状況

経常利益は、業務純益が増益となったものの、株式等関係損益の赤字の拡大、個別貸倒引当金繰入額の増加等を主因に、962 億円と前年同期比△96 億円、△9.1%の減益となった。

中間純利益は、経常利益が減益となったものの、697 億円と横ばいとなった。

### 5. 単体自己資本比率[国内基準 40 行] (自己資本比率:10.55%、Tier I 比率:8.41%)

単体自己資本比率は、中間純利益による利益剰余金の積み上げ等により自己資本額が増加し、リスクアセットがほぼ横ばいであったことから、前年度末比+0.15%<sup>°</sup> 引ト上昇し、10.55%となった。

また、Tier I 比率は、同+0.16%<sup>°</sup> 引ト上昇し、8.41%となった。

### 6. 預金および貸出金(末残)

#### (1) 預金(59兆4,082億円)

預金(末残)は、前年同期末比+1兆5,309億円、+2.6%増加して59兆4,082億円となった。要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金とも増加した。

#### (2) 貸出金(44兆4,412億円)

貸出金(末残)は、前年同期末比+9,166億円、+2.1%増加して44兆4,412億円となった。

以 上

(計数資料)

## 1. 損益の内訳

(単位：億円、%)

	平成24年度 中間期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
業務純益	1,830	64	3.6
業務粗利益	5,257	24	0.5
資金利益	4,494	141	3.0
預貸金収支	3,731	134	3.5
有価証券利息配当金	805	3	0.4
役務取引等利益	317	1	0.3
その他業務利益	444	116	35.4
国債等債券関係損益	316	59	23.0
経費( )	3,579	44	1.2
一般貸倒引当金繰入額( )	152	44	-
臨時損益	867	160	-
個別貸倒引当金繰入額( )	432	14	3.3
株式等関係損益	379	119	-
経常利益	962	96	9.1
特別損益	7	22	-
税引前中間純利益	970	73	7.0
法人税、住民税及び事業税( )	114	53	31.7
法人税等調整額( )	157	19	10.8
中間純利益	697	1	0.1

(注) 1. 計数は、平成24年9月末現在の全会員行41行ベースである(特記ある場合を除く。以降同様)。

2. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息

3. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却

4. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

## 2. 経営諸指標

(単位：%、%ポイント)

	平成24年度 中間期		前年度比
貸出金利回 (A)	1.87	0.12	
有価証券利回	1.04	0.05	
資金運用利回 (B)	1.58	0.11	
預金債券等原価 (C)	1.31	0.07	
預金債券等利回	0.11	0.02	
預金利回	0.11	0.02	
譲渡性預金利回	0.14	0.01	
経費率	1.19	0.05	
人件費率	0.60	0.02	
物件費率	0.52	0.02	
税金率	0.06	0.00	
資金調達利回	0.14	0.02	
資金調達原価 (D)	1.32	0.07	
預貸金利鞘 (A-C)	0.56	0.05	
総資金利鞘 (B-D)	0.26	0.04	
預貸率(未残)	72.86	0.73	
" (平残)	72.70	0.82	
預証率(未残)	25.18	0.11	
" (平残)	25.82	0.48	
コア業純ROA	0.42	0.02	
コア業純ROE	9.21	0.60	
コア業務粗利益OHR	72.45	0.34	

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (総資産平残-支払承諾見返平残) × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) × (365/183) / (純資産平残-新株予約権平残) × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

## 3. 経費の内訳

(単位：億円、%)

	平成24年度 中間期		
	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	
経費	3,579	44	1.2
人件費	1,813	13	0.7
給与・報酬	1,125	14	1.2
賞与	264	1	0.4
物件費	1,572	21	1.3

## 4 . 不良債権処理額

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成24年度 中間期	前年同期比 増減額/変化幅	前年同期比 増減率
貸倒引当金繰入額	222	16	7.8
貸出金償却	52	11	17.5
その他不良債権処理額	40	4	11.1
合計 (A)	316	10	3.3

与信費用比率 (X)	0.14	0.00	
預貸金利鞘 (Y)	0.56	0.05	
(参考)預貸金利鞘 - 与信費用比率 (Y-X)	0.42	0.05	

(注) 1 . 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額 - 臨時収益計上の取崩超過額

2 . 与信費用比率 = 不良債権処理額 × (365/183) / 貸出金(平残) × 100

## 5 . 臨時損益の内訳

(単位：億円)

	平成24年度 中間期	前年同期比 増減額
臨時損益	867	160
個別貸倒引当金繰入額	432	14
貸出金償却	52	11
株式等関係損益	379	119
株式等売買損益	71	11
株式等償却	307	108
貸倒引当金戻入益	57	47
償却債権取立益	35	1

## 6 . 金融再生法開示債権

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成24年度 中間期末	平成23年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破産更生等債権	4,057	325	7.4
危険債権	10,792	157	1.5
要管理債権	2,119	151	7.7
開示債権 (A)	16,969	18	0.1
正常債権	432,444	2,115	0.5
総与信 (B)	449,414	2,098	0.5
金融再生法開示債権比率 (A/B)	3.77	0.02	

## 7 . リスク管理債権

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成24年度 中間期末	平成23年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破綻先債権	1,154	73	5.9
延滞債権	13,549	85	0.6
3カ月以上延滞債権	77	81	51.3
貸出条件緩和債権	2,040	230	12.7
合計 (A)	16,823	7	0.0
貸出金 (B)	444,412	2,159	0.5
リスク管理債権比率 (A/B)	3.78	0.02	
貸倒引当金 (C)	5,741	330	5.4
特定債務者支援引当金 (D)	4	0	0.0
引当率 [ (C+D)/A ]	34.15	1.94	

8 . 単体自己資本比率（国内基準：40行ベース）（単位：億円、%、%ポイント）

	平成24年度 中間期末	平成23年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
Tier (A)	25,948	409	1.6
Tier (B)	6,671	7	0.1
うち負債性資本調達手段等	4,459	166	3.9
自己資本総額 (C) = (A+B)	32,620	403	1.3
控除項目 (D)	52	0	0.0
自己資本額 (E) = (C-D)	32,567	402	1.2
リスク・アセット合計 (F)	308,451	771	0.2
うち資産（オン・バランス）項目	287,455	879	0.3
自己資本比率 (E/F)	10.55	0.15	
Tier 比率 (A/F)	8.41	0.16	



## 9 . 主要勘定の内訳 ( 未残 )

( 単位 : 億円、% )

	平成24年度 中間期末	前年同期末比 増減額	前年同期末比 増減率
貸出金	444,412	9,166	2.1
有価証券	152,708	3,884	2.6
国債	74,715	320	0.4
地方債	15,009	819	5.8
社債	37,587	1,810	5.1
株式	6,632	369	5.3
外国証券	12,792	885	7.4
その他の証券	5,969	438	7.9
商品有価証券	140	2	1.4
金銭の信託	267	28	9.5
コールローン	18,637	3,525	23.3
運用勘定計	625,982	18,253	3.0
繰延税金資産	2,793	751	21.2
資産 計	654,321	18,776	3.0
預金	594,082	15,309	2.6
譲渡性預金	12,179	2,514	26.0
コールマネー	360	255	242.9
調達勘定計	616,290	18,019	3.0
繰延税金負債	44	13	41.9
負債 計	624,604	17,126	2.8
純資産 計	29,716	1,650	5.9
負債及び純資産 計	654,321	18,776	3.0

以上